

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO守口校		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月18日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	66	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年2月3日 ～ 2026年2月18日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して、楽しく通えるように努めています	子どもたちと、できた！の喜びを共有するため、スモールステップで成功体験を積み重ねていけるようなメニューを提供している。	他児ともコミュニケーションをとっていけるよう、ペアでの運動メニューを取り入れていく。
2	子どもたちの様子や状況を職員間で共有し、課題をみつけ、セッションに取り組んでいます	セッション後に職員間で振り返りの場を設け、子どもたちの様子や課題について話し合っている。	フィードバック時などで保護者様のお話を聞き、よりニーズに合ったセッションを提供していく。
3	提供する運動プログラムを通して、原始反射へのアプローチを行っている	医師監修の運動プログラムを、通っている子どもたちに合わせ取り入れている	原始反射の知識をさらに深め、効果的な運動プログラムを追求する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会	社としてそういった取り組みを行っていない。	地域の行事ではないが、行っている登山やアートイベントの情報を保護者へ伝えていく。
2	運動スペース	会員数が増え、スペースが手狭になってきている	死角を作らず全体を見渡せるよう指導員を配置する。子どもたちにも周りを見て特に年下の友だちに対して配慮できるよう話をする。
3	教室の扉を開けるとすぐに交通量の多い道路に面している	扉には子どもの手が届かない位置に二重の鍵をつけているが、飛び出しの恐れがある	子どもが入り出す際には、必ず指導員が立ち会う。また、セッション中、扉に近づかせないよう常に注意が必要。